

# 日本画

応募点数	51点	招待作品	12点
入賞点数	7点	展示点数	63点
入選点数	44点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 日本画部門の今回の特色は初出品が10点と例年にない多さで、とても心強く喜んでおります。

もう一つの特色は人物画が多くて、秀作が沢山含まれていることです。

人物画の場合はデッサン力の確かさが要求されますが、入賞作はどれも勉強のあとが充分伺われて好感がもてる仕上がりとなっております。

次に作品全般についてふれます。

大切なことは作者が絵を鑑賞していただく皆様に「何を訴えかけたいか」、「それにはどう表現するか」にあります。

今年は、ねらいをしっかりと定めて、表現技法、色彩感覚も秀れた作品がそろったように感じます。

日本画は鉱石などを砕いて作る「岩絵具」を顔料に用います。

岩絵具は本来とても美しい色をしています。

厚手の和紙の上にこれを薄く繰り返し何度も塗り重ねて、下の色が上にかけて色の間から見えて微妙な色あいや絵の深み、量感、質感、情感を表現してゆきます。

前述の訴えかけたいものを岩絵具を用いて表現するには岩絵具を扱う技法の修練が欠かせません。

鑑賞されるにあたっては、日本画独特の顔料「岩絵具」そのものがもつ美しさと、それをいかに使いこなしているか、作者の心が伝わってくるか、などをポイントに楽しんでいただければ幸いです。  
(文責 安部 富男)

## 知事賞 ◎

### あお ぼう し 青い帽子

わたり ま や  
渡 麻 矢 (大田市)

色の柔らかさにまず引き付けられました。背景に入れた青色と青い帽子と青のブラウスの色使い、背景の珊瑚末(ベージュ色)と、顔の色との絶妙の調和に作者のセンスの良さを感じます。日本画の絵の具だけでなく、色鉛筆の細かいタッチが作品を一段と柔かく、繊細な色のトーンを醸し出しています。作者は以前焼き物の窯を作品として制作されたことがあり、当時はかなり厚塗りで画面にヒビが入っておりました。絵のモチーフとしてそのヒビは絶妙な質感でしたが、最近は薄塗りに変化しており、新しい作品創りの意欲を感じます。只、顔の表情や手の表現は大変美しく描かれていますが、英字新聞を薄い和紙に手描きで描かれて貼ってあるその絶妙の筆使いには感心しますが、新聞の位置、方向が画面のバランスを崩しています。又瘦せた御婦人の下半身の表現に少し不自然さを感じます。今後も大いに躍進され進化されます事を大いに期待致しております。  
(文責 東野布由美)

金 賞 ④

いこい  
憩

こ ばやし はる お  
小 林 晴 夫 (松江市)

作者は、的確なデッサンで、ツーリング途中一と休みする青年を、丁寧に描き込んであります。

全体の色調をグレーに押え、手にしたコーラの赤が画面を、引き締めています。人物の手足は、顔以上に物を言います。ぬいだ靴と素足は、ツーリングの心地いい疲れを表し主題とマッチしています。

独特の日本画表現である、省略により余韻ある空間の中に、現代絵画を追求する意欲が感じられます。

この若々しい表現を大切に今後も活躍されますことを期待します。

(文責 大森 幹雄)

銀 賞 ④

ま ち  
キューポラのある町

きた わき とよ し  
北 脇 豊 史 (出雲市)

暗闇の中に燃えあがる炎の輝きと、その白色の中に浮かびあがる機械のシルエットが力強く描かれています。様々な色と技法で描き込まれた炎と闇は、工場内の熱ばかりでなく、音や匂いまでも感じさせてくれます。

画面上部から垂れ下がるワイヤーの直線は炎でゆらめく画面に緊張感を与えています。まさに、金属を溶かす強烈なエネルギーに向きあう作業者の張りつめた気持ちを物語っているようです。

町の一角に目を向けて、そこでの物語を丁寧に描き上げようとする作者の誠実さが感じられる力作だと思います。次回作を観るのが楽しみです。(文責 内藤 博信)

銀 賞 ④

まなざし

はら くに こ  
原 邦 子 (出雲市)

目立つ作品ではありませんが、じっくり眺めると素朴で味わいのある作品です。身近な人物と日常を題材にされ、デッサン力と人物の顔や衣服等に写り込んだ炎の色が、この人物の存在感を強くしています。

壁面には抑えられた色彩の中からかすかに炎の暖色系の色彩が見え、人物を包む空気感や温もりのある画面がしっかり表現されています。欲をいえば、焚き口の上方に煤の表現が加わればさらに炎にリアリティーが出てくると思われます。

作者のやさしい「まなざし」と描かれた人物のやさしい「まなざし」が温もりのある深い余韻で伝わってくる佳作です。(文責 福間小夜子)

銅 賞 ④

ろ じ  
路地

つ もり ゆう き  
津 森 祐 樹 (松江市)

路地裏の入り組んだ建物に夕陽が差し込んでいます。その斜光が建物や路地に明と暗を作り出しています。

しっかりしたマチエールに建物や電柱、ブロック塀が堅牢に描かれ、その縦と横の線がリズムカルに響きあっています。

細部をよくみると、光と陰を細い線で丹念に描き分けられています。その積み重ねがこの作品を力強いものにしてしています。又、オレンジ系と紫紺のコントラストの色調が美しく、夕暮れ間近の空気感がただよふ情感豊かな作品に仕上がっていると思います。

画面が小さいのが残念です。この次は大きな画面に挑戦して下さい。

(文責 清水 誠子)

## 銅 賞 ③

### 花王

佐々木

勉 (松江市)

題名からもわかりますように、ダイナミックで生き生きとした力づよい描写がなされているなど感じました。きっと自分でボタンの花を育てられたものではないでしょうか。

技法的なおもしろさもあり、葉脈などにみられる線描もしっかりしていて好感がもてます。欲をいえばいちばん花がきれいな時期に写生をしたり、中心になる花とまわりに咲くいくつかの花の大きさのバランスがとればさらにすばらしい作品になるのではないかと思います。

今後のご活躍を期待しています。

(文責 浜村 厚子)

## 銅 賞 ③

### 父還る

有 田

秀 子 (出雲市)

人は何かしらの心の風景があります。作者は戦後生れだが、お父さんや家族の方から「あなたのお父さんが舞鶴港へ引上げた時は……」と聴かされていたと想像できます。父の遺品に出た引上げ証明書に心が動いたと思います。

私は絵を描くというのは自分の心の中の本質的なものを表現するという作業だと思っています。この作品は戦後70年経ち、もう一度平和の大切さを見つめるとか、自分の生まれた運命を感じるとかそんな力を秘めた作品になっています。特に引上証明書を入れることで当時の状況の現実味を増しています。

作品の技術的な完成度は決して高くはありませんがテーマと作品のバランスが素晴らしいと思います。今後はデッサン等の基本的なものを勉強されればさらに自分表現の幅が広がると思います。

今後の活躍にエールを送ります。

(文責 小村 俊美)

## 入 選

題 名	氏 名	備 考
想	井 上 櫻 子 (松江市)	
群咲く	黒 田 育 子 (出雲市)	島根日本画協会奨励賞
回 回	打 田 はるみ (出雲市)	

	題名	氏名	備考
⑩	和	小川明夫(浜田市)	
	天平の詩	奥井正之(出雲市)	
	花菖蒲	岸静子(出雲市)	
	春がきたー	伊藤明德(出雲市)	島根日本画協会奨励賞
	水郷	引野春雄(出雲市)	
	宵	榊原好子(出雲市)	
	新秋	今岡恵子(出雲市)	
⑩	浩然の気	古森和代(浜田市)	
	秋色山牛蒡	岸井二美(松江市)	
	やわらぎ	杉原瑩子(松江市)	
	謳う	菅野あい子(松江市)	
	露結ぶ朝	荒川ゆかり(松江市)	島根日本画協会奨励賞
	神々のくにの少女	清原茂治(松江市)	
	朝の彩り	石倉由美子(松江市)	
	安寧の願い	西村朋子(出雲市)	島根日本画協会新人賞
	鳥の聲	福間美智子(出雲市)	島根日本画協会奨励賞
	群生	恩田ゆき子(奥出雲町)	
	あじさい	目黒誠津子(奥出雲町)	
	チューリップ	塚本治代(奥出雲町)	
	朝露の中で	宇田川京子(奥出雲町)	
	開演前	鹿田純子(松江市)	
	鏡の中の・・・	森脇純子(出雲市)	島根日本画協会賞
	宇宙	野津恵子(松江市)	島根日本画協会新人賞
	山芍薬	石橋陽子(松江市)	
⑩	初秋	大石照子(益田市)	
⑩	行雲蓮華	西藤真弓(浜田市)	
	梅雨に踊る	飯塚眞治(出雲市)	
⑩	はぐれる	吉江寛(大田市)	島根日本画協会奨励賞
	清し花	佐藤さゆみ(出雲市)	無鑑査
	廃屋の中から	広田あつ子(安来市)	
	花と猫	松原安杏(松江市)	
	恋灯	伊藤圭子(出雲市)	
	深秋	須谷幹子(出雲市)	
	蓮	松下純子(出雲市)	
	環	米原ひろこ(出雲市)	
	冬のあしおと	矢野きよ子(松江市)	
	秋立ちて	内藤章江(松江市)	
	周藤彌兵衛翁の像	舟木美代子(松江市)	
	宙	三島京子(松江市)	
	古代の響	角田智竭(松江市)	島根日本画協会会員奨励賞
⑩	風の音	児玉美智子(益田市)	島根日本画協会会員賞

## 招待

	題名	氏名	備考
	明鏡止水	安部 富男 (松江市)	
⑩	花流星群	東野 布由美 (出雲市)	
	守	大森 幹雄 (出雲市)	
	出雲路	小村 俊美 (出雲市)	
	白秋	清水 誠子 (出雲市)	
⑩	開	内藤 博信 (松江市)	
	万華鏡	中村 康二 (奥出雲町)	
	けいとう	浜村 厚子 (出雲市)	
	水中花	福間 小夜子 (出雲市)	
	森への道	村上 ななほ (松江市)	
	初雪	吉岡 珠恵 (松江市)	
	秋桜	畑 幸雄 (奥出雲町)	